

2. 現状と課題の整理(5/5)

⑤ 回遊(交通・歩行者ネットワーク)

- 公共交通でのアクセスのしやすさや結節性の高さを活かし、車中心から人中心のまちへの転換の更なる推進を図るとともに、電車通り沿いでは、今後、低層部の賑わい機能の導入、視認性の確保等により、東西の賑わいや人の流れをつなぎ、回遊を生み出すことなどが重要。
- 観光施設、商業施設、通り、オープンスペースなどの魅力的な資源は点在しているものの、有機的な連鎖性が不足していることから、ストーリー性を持った線、さらには面として展開していくことが重要。

【プラン対象エリアの現況】

(交通)

- ・自動車への過度な依存により公共交通の利用が減少傾向にあり、交通渋滞が慢性化している
→県・市において「自動車1割削減、公共交通2倍、渋滞半減」をキーワードに「道路」、「公共交通」の面から、短期、中期、長期の対策に取り組む
- ・「熊本都市圏都市交通マスタープラン」、「地域公共交通計画」、「自転車活用推進計画」、「まちなか駐車場適正化計画」など重要な計画が令和7年度(2025年度)、令和8年度(2026年度)に改定予定
→庁舎周辺まちづくりプラン(仮称)策定にあたり連携整合を図る
- ・電車通り沿いの電停・バス停は利用者が多く、2つの核が交通結節点も担う
- ・駐車場が広く点在しており、需要に対し必要量が確保されていると考えられる(令和元年調査時点、令和7年調査中)

(歩行者ネットワーク)

- ・市民、観光客ともに、2核3モールが回遊の軸。観光客は熊本城への回遊が顕著。下通に対して上通の通行量が少ない
- ・同一路線でも日中と夜間では通行量が変化。下通周辺や上乃裏通りなどは夕方以降に通行量が増加
- ・花畑・桜町エリアから中心商店街までの電車通りの横断のうち、サンロード新市街前の交差点が主となる地下通路は地上横断の約1割で利用は少なく、歩道橋は平面横断の3割程度
- ・熊本城側から中心商店街側を見た場合、電車通り沿いに中高層ビルが連続し、空間の抜けが少ないこと、低層階に商業用途が少ないこと等から、ビル群の後背部(中心商店街など)の賑わいが見えにくい

【まちづくりの論点】

(ポテンシャル)

- ▶公共交通でのアクセスのしやすさと交通結節機能の高さ
- ▶2核3モール+東西方向のラダー型の道路構造、交通規制などによる歩行者回遊の基盤
- ▶車から人への転換についての成功体験(シンボルプロムナード等)
- ▶白川・坪井川の水と緑、花畑広場、白川公園等の広場空間

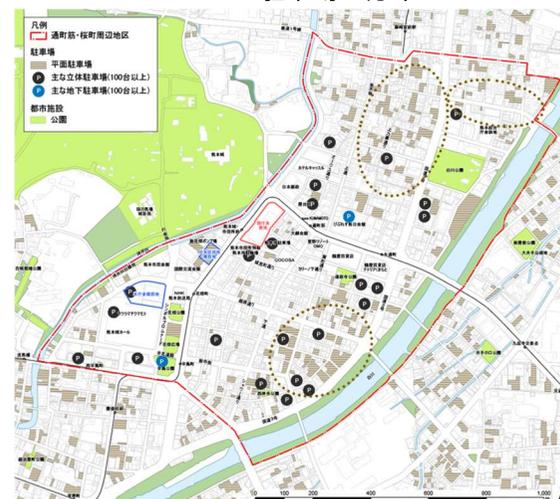
(課題)

- ▶電車通り沿いのビル群や街区構成等により分断している東西の賑わいや人の流れをつなぎ、回遊を生み出す
- ▶まち歩きを楽しむことができる空間(上質な空地や緑空間)の整備
- ▶車中心から人中心のまちへの転換の更なる推進(歩行者空間化、公共交通利用促進、駐車場適正化など)
- ▶観光施設、商業施設、通り、オープンスペースなどの魅力的な資源は点在しているものの、有機的な連鎖性が不足していることから、ストーリー性を持った線、さらには面として展開していくことが重要。

市電・バス・電鉄路線網と乗降客数



オープンスペース・駐車場の分布



2. 現状と課題の整理(5/5)

⑤ 回遊(交通・歩行者ネットワーク)

- 市民アンケートでは、2つの商業核、下通エリア、上通エリア、花畑広場が、“利用頻度が高い場所”、“おすすめの場所”ともに多い。
- 上乃裏通り、長堀通り、熊本城、並木坂は、“利用頻度が高い場所”よりも“お気に入りの場所”との回答が多い。
- 改善した方がよいと思う場所に対するコメントには、まちなかの自動車交通の不満、休憩スペースの不足、目的となる店舗の魅力不足、街並み、景観・デザイン等の不満が多い。

(R7年度市民アンケート結果より)

■市民の声:「よく利用する場所や通り」と「気に入っている・おすすめの場所」

熊本城/熊本城周辺

- 桜や四季の風景を楽しめる
- 歴史と風情を感じられる誇りの場所
- 城彩苑と合わせて県外の方を案内する
- 県立美術館など周辺の文化施設と合わせて楽しめる

桜の馬場 城彩苑

- 熊本名物の飲食店・おみやげ店が楽しめる

上通/上通周辺

- 落ち着いた雰囲気歩きやすく、散策が楽しい
- 古くからの店と新しい店が混在する独特の街並みが魅力
- 本屋・カフェ・飲食店など目的地が多い

並木坂

- 古い建物や石畳の雰囲気が心地よい
- おしゃれで個性なお店が多い
- 落ち着いた過ごせる

上乃裏通り

- おしゃれで美味しい飲食店が多い
- 古民家を活用した店や隠れ家的な店が多い
- 落ち着いた雰囲気や個性ある店舗が魅力、歩いて楽しい街並み

オークス通り

- おしゃれな店が多く、落ち着いた過ごせる
- 和と洋の景観の魅力がある

白川公園

- 緑が多く開放的で落ち着いた過ごせる
- 茶室や公民館でイベントがある

白川

- 緑が多く、川の水面や四季の移ろい、夕日などの景色がきれい
- 散歩やサイクリングができる
- 白川夜市のイベントも楽しめる

商業核(通町筋地区)

- イベント・催し物が楽しい
- 現代美術館の展示・イベントで利用
- 品揃えが豊富、贈答品を買える店がある
- 物産展等の催事が魅力的な店がある
- 提携駐車場がある店がある
- 便利で店舗数も多く、日常的な買い物に使いやすい店がある
- 熊本城の眺望が良い、市電との組み合わせが熊本らしい
- バス・市電のアクセスが良い

シャワー通り

- おしゃれな店舗がある
- 石畳や街路樹のライトアップがきれい

下通/下通周辺

- 商業施設、飲食店が充実しており、買い物・外食の利用が多い
- 日用品から娯楽施設まで揃う
- アーケードが広く開放的、雨でも歩きやすい
- 人通りが多く、にぎやかで活気がある

熊本市

- 回遊ルートが分かりにくい
- 地震後、駐車場の利便性が悪い
- 城の近くにもっと店やアトラクションをつくってほしい

交差点周辺

- 通行する車線がわかりにくい
- 城前の一等地でもったいない

長堀通り

- ゆっくり休憩できるベンチを増やしてほしい、カフェがあるとよい
- 夜間暗い

桜町地区

- 魅力的な/利用したい店舗・施設の不足
- シンボルプロムナード、花畑広場に座れる場所や木陰を増やしてほしい、イベント時は通行しにくい
- 避難場所に指定されているが雨風がしのげない
- バスターミナルは慣れないとわかりにくい

銀座通り

- 路上の駐停車/荷捌き等の車が通行を妨げる
- 魅力的な/利用したい店舗・施設の不足
- 街並みが雑多

西銀座通り

- 空きビルがある
- 道が狭く夜が暗い

新市街

- 魅力的な/利用したい店舗・施設の不足

下通/下通周辺

- 魅力的な/利用したい店舗・施設の不足(チェーン店が多い)
- 治安が悪く、夜は怖い
- ごちゃごちゃした街並み、飲み屋街特有の汚れ
- 治安、景観が悪い場所や、景観的に不相应な看板がある場所がある
- 休憩スペースの不足
- 建物の老朽化
- 駐車場の少なさ、使いにくさ

■市民の声:「改善した方がよいと思う場所」

並木坂

- 下通・桜町から距離があり、アーケードに比べてにぎわい・人の流れが不足

上乃裏通り

- 道幅が狭く、車・自転車と混在するため安心して歩けない

国道3号

- 交通渋滞がひどい

白川公園周辺

- ゆっくりすごせるカフェやおしゃれな店舗ができると良い

白川

- 景観を大切にしたい
- 草木の手入れが必要

オークス通り

- 雰囲気が良い立ち寄れる店が少ない
- 根上がりして歩きにくい

電車通り

- 渋滞・交通量の多さ(水道町付近)
- 道幅が狭く、市電・バス・車が近く怖い
- バスレーンが分かりにくい
- 魅力的な/利用したい店舗・施設の不足

駕町通り

- 道が狭く、駐停車車両がおり通行しにくい

シャワー通り

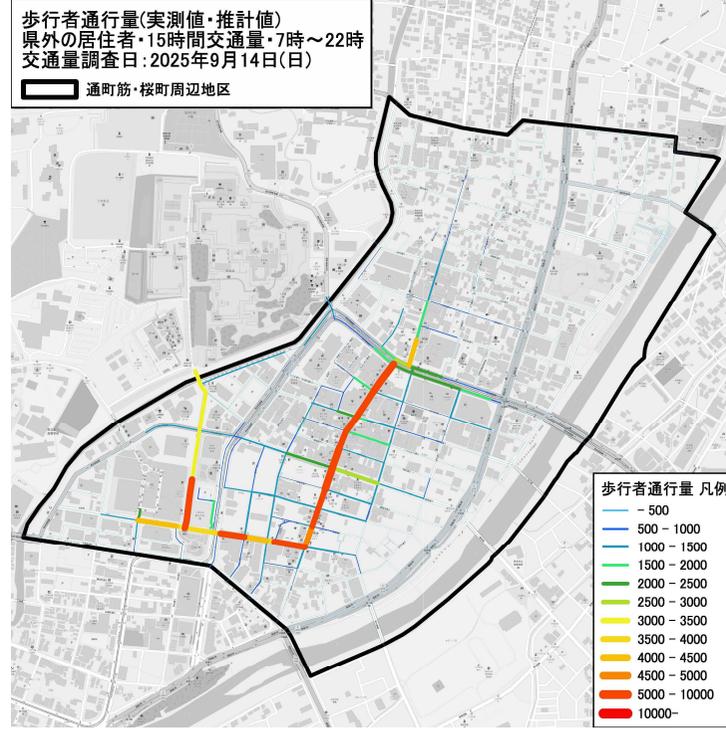
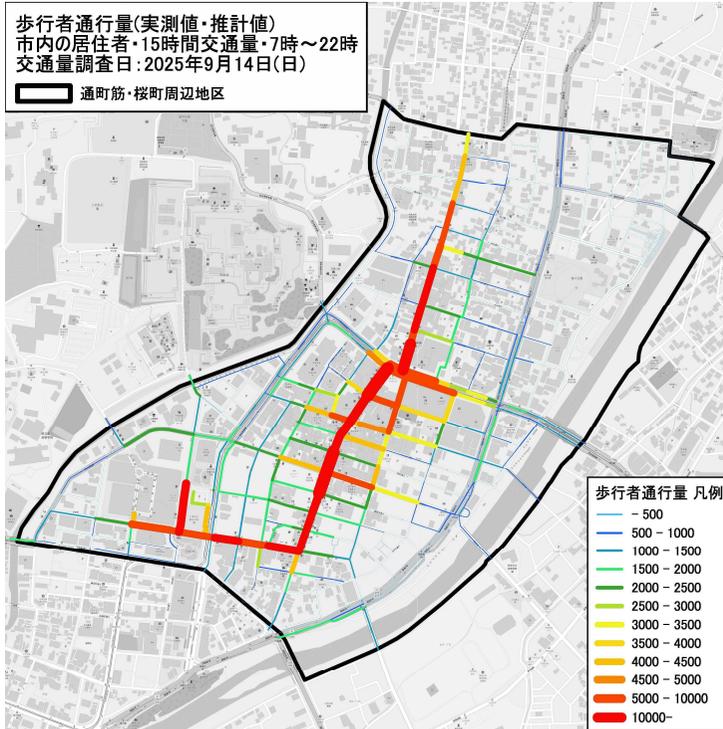
- 店舗が減り、暗いイメージがある

2. 現状と課題の整理(5/5)

⑤ 回遊(交通・歩行者ネットワーク)

- 実際の歩行者通行量調査の結果からも、p9の市民アンケートの回答(お気に入りであるが、利用頻度は高くはないこと)を表し、歩行者動線は、2核3モールが主軸であり、個性のある通りや魅力的なスポットにまで回遊が広がっていないことが分かる。
- まちの構造や、商業、エンターテインメント、オープンスペースなどの資源を活かして、エリアの隅々まで回遊をつなげ、広げていくことが重要。

■通町筋・桜町周辺地区の歩行者等通行量(左:市内の居住者、右:県外の居住者、2025年9月14日)



■魅力的な通りやオープンスペースなど



- ▲市民アンケートでは、“お気に入りの場所”とされるが、利用頻度は高くない。
(上乃裏、長堀通り・熊本城、並木坂など)

■熊本城側から見た中心商店街側の景観や周辺の道路状況



- ▲電車通り沿いに中高層ビルが連続し、ビル群の後背部(中心商店街など)の賑わいが見えにくい。
- ▲歩道の幅員の狭さや路上駐車等により通行しにくい道路。

3. まちづくりの視点と将来像

まちづくりの論点として活かすべき「ポテンシャル」と「課題」から、まちづくりの視点と将来像を次のように設定します。

1

市民生活をまもり、企業に選ばれる、災害に強い「まち」をつくる

2

多様な経済活動が興り、連鎖する、活発な新陳代謝が生まれる「まち」をつくる

3

個性的で魅力的な歴史や都市文化が息づく、市民が誇り、世界が憧れる「まち」をつくる

4

ウォーカブル推進都市として、車中心から人中心のまちへと更なる転換を進め、歩くたびに新たな発見が生まれる「まち」をつくる

【将来像】

多様な出会い・発見・活動が相互作用し、新たな物語が生まれる「まち」

今後、皆様と目指すべき将来像が共有しやすいように、イメージパース等を作成します。

4. 取組の方向性(2/2)

様々なご意見等を踏まえながら今後の取組について検討します。

都市機能更新について

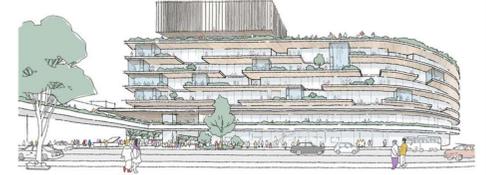
- 「電車通りエリア」については、高度な都市機能や低層部への賑わい機能の導入、公共貢献を伴う建替えの誘導・支援等の方向性を検討します。
- 「中心商店街エリア」については、老朽化建築物の建替え・リノベーション等の誘導・支援の方向性を示します。



まちなか再生プロジェクトより

新庁舎・区役所の整備効果を活かしたまちづくりについて

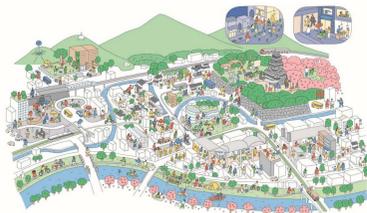
- 新庁舎・区役所の整備効果が最大化され、更なる賑わいと交流が創出されるようなまちの在り方を検討します。



新庁舎基本計画素案より

回遊性向上について

- 電車通りを挟む“桜町・花畑地区”と“中心商店街”との回遊性の向上について検討します。
- 「中心商店街エリア」には、個性ある魅力的なまちなみの形成、上質な空地・小さな緑空間など、ウォーカブルな空間の創出に向けた取組・支援等の方向性を検討します。



熊本市中心市街地ウォーカブルビジョンより

現庁舎跡地周辺について

- まちの賑わい、周辺への波及、地域経済活性化に寄与する現庁舎跡地（周辺）利活用の在り方を検討します。



現庁舎写真

5. プランの推進に向けて

策定後のプランに基づき、様々な取組等を展開していきます。

(防災)

- ・老朽化したストックの更新・整備（共同化・建替え・耐震+リノベーション等）
- ・浸水対策 等

(賑わい・回遊)

- ・新庁舎、区役所、現庁舎跡地の回遊性を高め、2核3モールを発展させた大きな人の流れを形成する
- ・歩くたびに新たな発見がある魅力的な目的地や通りの形成 等

(都市文化)

- ・熊本城をはじめとした歴史文化を活かしたストーリー性のある観光施策の充実
- ・歴史、市民文化、アート、音楽、ナイトライフなど、多様で個性的な魅力を活かした滞在型観光の魅力の強化
- ・歴史、市民文化、芸術などに携わる主体が育ち、活動できる場の創出 等

(まちの成長)

- ・都市の中心部にふさわしい都市機能の導入、企業誘致、公共貢献などを伴う大規模建替えの促進
- ・若年層が働き、生活し、活動する場の創出
- ・地域に根ざした事業者や担い手による投資やチャレンジに対する支援 等

(まちなか交通)

- ・駐車場の適正配置、総量抑制
 - ・公共交通利用促進 等
- 注) 取組は例です

プラン策定までのスケジュール

年度	R6	R7				R8				R9~
		4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	
市議会		● 特別委員会	● 特別委員会	● 特別委員会	● 特別委員会	●	●	●	●	...
全体		● 骨子案				● 骨子		● 素案		● プラン策定
庁舎周辺まちづくりプラン (仮称)等検討委員会		● 第1回	● 第2回	● 第3回	● 第4回	●	●	●	●	
専門分科会			● 第1回	● 第2回	● 第3回	●	●	●	●	
意見聴取・機運醸成など		サウンディング調査 (R6年度実施分)	シンポジウム、説明会、市民アンケート、まちづくりラボ、オープンハウス等				サウンディング調査			